

公益財団法人 計算科学振興財団 令和7年度事業計画

令和7年度は中期事業計画（令和5～9年度）に基づき、Society5.0の実現や産業競争力の強化に向けて、AI/機械学習・ビッグデータ活用によるシミュレーションの深化など、企業の技術高度化支援、実践的技術者の育成等を引き続き実施し、スーパーコンピュータ「富岳」を中核とするHPCIの産業利用の促進、HPCスタートアップ・ステップアップの支援等に努める。

1 HPCIの産業利用の促進

（1）HPCI産業利用等の拡大

「富岳」を中核とするHPCIの産業利用等を促進するため、（国研）理化学研究所計算科学研究センター（R-CCS）及び（一財）高度情報科学技術研究機構（RIST）等と連携して、潜在利用者の開拓、HPCIのスタートアップ・ステップアップ支援、HPCI利用者の支援を行う。

「HPCIの運営」分担機関（令和4年度～8年度予定）

① 「富岳」/HPCI利用企業の開拓

「富岳」を中核とするHPCIを活用した成果創出を促進するため、「富岳産業課題」、「富岳産業試行課題（ファーストタッチオプションを含む）」等への新規応募者・利用企業の開拓を行う。

② 「HPCIアクセスポイント神戸」の運営とアプリケーション利用拡大

HPCIの円滑な利用を支援するため、高速ネットワークで「富岳」に直結し、大規模データ入出力やプリポスト処理が可能な「HPCIアクセスポイント神戸」を運営する。

- ・AI活用したシミュレーションの高度化・高速化に適したプリポストサーバの導入

また、HPCコミュニティで開発された産業利用向けアプリケーションの利用拡大を進める。

- ・「富岳」向けアプリケーション講習会の企画・実施

（2）「富岳」クラウド的利用に向けた取組への参画

「富岳」の利用拡大・利便性向上を図るため、サービス事業者が「富岳」利用者に様々なサービスを提供する「富岳クラウド的利用」推進の取組に参画する。

- ・富岳アプリケーションサービス課題「「富岳」向けの産業利用ソリューションサービス」の実施

（3）HPCI構築・運営に係る意見の発信

HPCIの構築・運営に産業界のニーズを反映するため、正会員として参画する「一般社団法人HPCIコンソーシアム」等を通じて、ポスト「富岳」をはじめ、産業界にとって望ましいスパコン活用のあり方についての意見を発信する。

（4）「富岳」成果創出加速プログラム等の研究成果の普及

「富岳」を中核とするHPCIが創出した研究成果を社会に実装するため、関係機関と連携して、先端ソフトウェアの利用促進や研究成果の普及啓発を行う。

2 HPCスタートアップとステップアップの支援

(1) 高度シミュレーション技術等の産業利用促進

① 「FOCUSスパコン」の利用促進

スーパーコンピュータ利用の裾野を拡大するため、産業利用向けのエントリースパコン「FOCUSスパコン」を整備・運用する。スパコン利用講習会等による利用支援を行うとともに、デジタルマーケティングツールの活用、各地公設試との連携等により中小企業を含めたスパコン未利用企業や研究者に対する渉外活動を実施し、「FOCUSスパコン」の利用を促進する。

また、一定のスパコン利用料収入を確保することによりFOCUSスパコンの継続的な整備更新に努める。

○スパコン利用法人/課題数目標

i) 新規登録 25 法人/50 課題

ii) 年度末登録 250 法人/315 課題超

○渉外活動：高性能が好評のSシステム(R5 年 12 月供用開始)に加え、AI・機械学習を含めて需要の高まる高並列計算向けの資源増強、活用ノウハウ普及を企図して導入したMシステム(MN-Core2 搭載、R6 年 12 月供用開始)、Nシステム(NVIDIA H100 搭載、R7 年 2 月供用開始)の利用促進

：兵庫、関西圏域の更なる強化、利用割合が低い圏域・業種（製造業以外の業種）への活動展開

：首都圏域での駐在員 2 名の活動強化による利用者獲得

○FOCUSスパコンの整備更新：ストレージの更新

② 技術高度化コンサルテーション

シミュレーション技術等の企業ニーズを把握し技術高度化を支援するため、企業訪問やオンライン会議によるコンタクト、産業用スパコン利用相談センターにおける相談を通じて、指導・助言、大学・研究機関の紹介など技術高度化コンサルテーションを行う。

○新規訪問数目標：120 件

(2) 実践的な企業技術者の育成とHPC人材の交流促進

① 講習会・セミナーの開催

企業技術者のシミュレーション技術等を向上するため、FOCUSスパコン利用法人だけでなく未利用法人も対象として、高度計算科学研究支援センター実習室他各地でのオンサイトやオンラインにより、「FOCUSスパコン」や「富岳」を用いた実習可能な講習会や座学主体の講習会を開催する。

このほか、企業からのテラーメイド研修の受託、自主学習の支援など、多様な講習会・セミナーを開催する。

また、関係機関と連携（共催・協賛・後援）して、テーマ別の講習会・セミナーを開催する。

○受講者数目標：2,200 人超

○開催予定講習会・セミナー

- ・スパコン利用講習会
- ・Linux/プログラム言語/アプリケーション講習会
- ・神戸シミュレーションスクール/ステップアップセミナー（流体解析/構造解析系）
- ・計算物理・化学リテラシー講習会
- ・AI/機械学習に関する講習会
- ・「富岳」HPCI 向けのアプリケーション、アクセラレータ活用に関する講習会

・HPCI アクセスポイント解説セミナー ・関係団体・民間企業との連携講習会 など
また、神戸シミュレーションスクールでは、地域貢献を視野に神戸市、兵庫県内からの企業受講者を優先する。

② 賛助会員交流会の開催

企業技術者の知見や人的ネットワークを広げる機会を創出するため、オンサイト開催をベースに賛助会員企業の取組事例発表、財団からの情報提供、意見交換などを行う交流会を開催する。

R7 年度は、より広範な産業界の意見収集ができるよう、賛助会員制度の改善(会員数を増やす施策)も検討・推進する。

3 H P C の普及啓発と理解の増進

(1) 先進事例等の効果的な普及啓発

① スパコン利用事例の収集・発信

スーパーコンピュータ利用の機運を醸成するため、産業界における利用事例を広く収集し、それを分かりやすく解説した「スパコン利用事例集」の発行やWEBサイトへの掲載等を通じて、発信する。

・スパコン利用事例集第 16 号 令和 8 年 4 月発行

② 「分散コンピュータ博物館」の運営

HPCの意義や成果への理解を増進するため、「分散コンピュータ博物館※」に認定された高度計算科学研究支援センター展示コーナーにおいて、スーパーコンピュータの開発史や産業界のスーパーコンピュータ利用事例などの紹介を行う。

R6 年 12 月に映像設備及び上映コンテンツを刷新済み。

※ コンピュータ関連の歴史的資料を保存・展示する施設を(一社)情報処理学会が認定するもの。

③ セミナー・見学会の開催/イベントへの参加

産業界や市民層にHPCへの理解を増進するため、関係機関と連携（共催・協賛・後援）して、研究者・企業技術者による事例発表や情報交換等を行うセミナー・見学会を開催する。

また、神戸医療産業都市に所在するHPC関係機関と連携して、市民層への理解増進を図るイベント等に参加する。

- ・スーパーコンピュータ・ソリューションセミナー 参加者数目標：100 人
- ・「富岳」一般見学や工業会・公設試験研究機関等と連携した見学会・セミナー
- ・一般向けスパコンセミナー
- ・神戸医療産業都市一般公開への参加 など

(2) 渉外・広報活動の積極的展開

① 展示会・ユーザー会への出展

産業界に対するHPCI及びFOCUSスパコンの利用の普及啓発及び利用促進活動として、関係機関・企業と連携して、企業が集う展示会やソフトウェアのユーザー会に出展する。

- ・国際フロンティア産業メッセ 2025（神戸市）
- ・日本ものづくりワールド（設計・製造ソリューション展）（東京都）
- ・nano tech 2026（東京都）
- ・人とするまのテクノロジー展（愛知県）
- ・ソフトウェアベンダー主催ユーザー会 など

② 情報発信と広報の実施

財団の事業活動等を広く周知するため、各種広報媒体・機会を活用して、「FOCUSスパコン」及び高度計算科学研究支援センターの利用案内、講習会・セミナーの開催等を発信するとともに、「富岳」など最新のスパコン関連情報の提供や関係機関の事業活動の紹介を行う。

- ・WEBサイトの運営
- ・メールマガジン「J-FOCUS_News」の配信
- ・Facebook、Instagramによる情報発信
- ・検索連動型WEB広告の活用
- ・報道機関/専門誌等への情報提供
- ・各種会合/セミナー等でのプレゼンテーション
- ・広報資料作成・配布

4 計算科学の研究教育拠点の形成促進

（１）計算科学センタービルの管理・運営

① 高度計算科学研究支援センターの管理・運営

「富岳」「FOCUSスパコン」を用いた研究開発及び人材育成・交流の支援、普及啓発を推進するため、計算科学センタービルの1～2階において、施設貸与、展示観覧、交流利用に供する高度計算科学研究支援センターの管理・運営を行う。

- ・施設貸与：研究室 FOCUSスパコン端末利用室 実習室 セミナー室
- ・展示観覧：展示コーナー
- ・交流利用：交流スペース

○入退館管理システム、自動検針装置の更新 など

② 兵庫県立大学大学院情報科学研究科への施設貸与と連携事業の実施

計算科学研究教育機関の集積と拠点機能の充実を図るため、計算科学とデータ科学を基盤とする教育研究を担う兵庫県立大学大学院情報科学研究科に計算科学センタービルの3～7階を貸与するとともに、連携協定に基づく連携事業を実施する。

③ 利便機能の提供

研究教育拠点の形成を支援するため、飲食に係る利便機能を提供する。

（２）計算科学等の研究推進

① 計算科学に関する研究教育拠点形成のための研究等支援

計算科学等の研究促進と研究成果の地域への還元を図るため、地域の発展に有益な研究に対して助成金を交付するとともに、研究成果の普及啓発や計算科学関連の人材育成を実施する。

② 研究活動の実施

産業界におけるスーパーコンピュータの有効利用を図るため、先進的研究機関や企業と連携して、新しい利用方法や運用方法、AI/機械学習技術を適用したスーパーコンピュータの活用研究等を進める。

5 関係機関・自治体との協創強化

財団の事業活動を広く、効果的に展開するため、産・官・学・公の協創を強化し、産業界、国・自治体、計算科学に関係する研究機関や公的機関との情報交換を行うとともに、事業活動への相互協力や講演会の開催など連携事業を推進する。

○これまでの主な連携機関・団体

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会 関西経済連合会 兵庫ITエレクトロニクス研究会 神戸商工会議所 文部科学省 兵庫県 神戸市 理化学研究所計算科学研究センター 東京大学生産技術研究所 神戸大学 兵庫県立大学 高度情報科学技術研究機構 HPCIコンソーシアム オープンCAE学会 ターボ機械協会 CAE懇話会 ひょうご科学技術協会 兵庫県マテリアルズ・インフォマティクス研究会 ひょうご神戸サイエンスクラスター協議会 神戸医療産業都市運営委員会 軽金属学会 日本機械学会 日本材料学会 日本計算工学会など

6 安定的な経営基盤の確立

公益目的事業を継続的に展開するため、中期事業計画に定める財務運営計画に基づき、FOCUSスパコン利用料や貸研究室利用料、資産運用などの自主財源の確保を図るとともに、補助金などの外部資金の獲得に努める。

また、費用支出を抑制し、収支均衡を図りつつ、今後の投資財源を確保するなど、健全な経営に努める。